

東日本大震災被災者支援のための ボランティア講座

平成 **23** 年 **5** 月 **1** 日(日)

13:30~16:30

入場無料

定員100名(要申込)

伏見ライフプラザ 12階 第1研修室
[地下鉄 伏見駅 6番出口 徒歩約8分]

- 13:30~14:30 『被災地の状況と支援活動の概要』
東日本大震災支援全国ネットワーク代表世話人
特定非営利活動法人 レスキューストックヤード 代表理事
栗田 暢之氏
- 14:40~15:10 ボランティア活動報告
- 15:10~15:25 「東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや」について
- 15:25~15:40 意見交換会
- 15:40~16:30 「東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや」出張相談会

《お問い合わせ・申込先》

なごやボランティア・NPOセンター

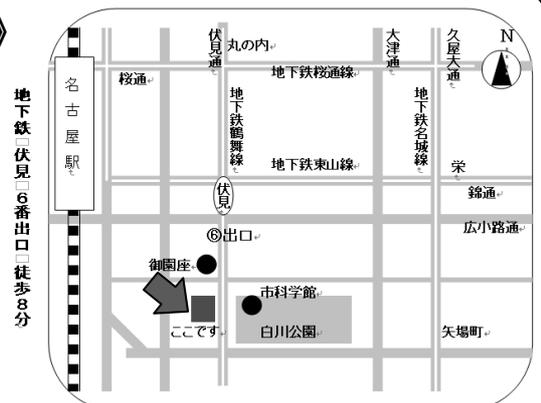
〒460-0008

名古屋市中区栄一丁目23番13号

伏見ライフプラザ 12階

TEL 052-222-5781 FAX 052-222-5782

e-mail: n-vnpo@proof.ocn.ne.jp



※お申し込みは上記に TEL、FAX、Eメールでお申し込み下さい。

平成23年3月11日14時46分、東日本一帯をマグニチュード9.0という国内史上最大の地震が襲いました。この地震は津波、火災、液状化現象、地滑り、原子力発電所事故を伴い、死者14,358人、行方不明者11,889人に上り、130,904人の方が避難生活を強いられています(4月25日現在 警察庁発表)。

この震災を機に“いまわたしたちにできることは何か”“現地に行きボランティア活動をしたい”“支援物資を提供したい”という問い合わせを数多く頂いています。なごやボランティア・NPOセンターでは、被災地の状況、実際の震災ボランティアの活動について共有し、被災地におけるボランティア活動の心構え、注意点を学ぶ機会にしたいと考え、今回のイベントを企画しました。

栗田 暢之氏 プロフィール

1995年の阪神・淡路大震災時には同朋大学生らのべ1,432名のコーディネーターとして被災者支援にあたった。同年7月に地元愛知県から継続した支援を行うほか、KOBEの教訓を今後の緊急時に生かすことなどを目的としたボランティア団体「震災から学ぶボランティアネットの会」が設立され、事務局長に就任。2002年3月に同会を発展的に解消して「特定非営利活動法人レスキューストックヤード」が認証され、同法人の常務理事兼事務局長を経て現在に至る。2000年9月の東海豪雨水害時には愛知県庁内に設置された「愛知・名古屋水害ボランティア本部」の本部長を務めた。



現在、特定非営利活動法人レスキューストックヤード代表理事、東日本大震災支援全国ネットワーク代表世話人

「東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや」とは？

「東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや」は、名古屋市内にお住まいの被災者の方の生活支援を行うボランティア活動の支援や被災地におけるボランティア活動を希望する方への情報提供を目的に、名古屋市が設置し、社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会となごや防災ボラネットが協力して運営しています。

- ① 市内にお住まいの被災者の生活支援に関するニーズの把握とボランティアによる支援
- ② 被災地域におけるボランティア活動を希望する方に対する相談、情報提供

【相談受付窓口】TEL：070（5029）9270

070（5012）5113

平日 午前9時～午後5時

名古屋市総合社会福祉会館5階 福祉のひろば[北区清水4-17-1]

当日は15時40分より当会場(伏見ライフプラザ)にて出張相談会をします。

主催：なごやボランティア・NPOセンター

協力：東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや

社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会・なごや防災ボラネット